



関東ジュニア大会 18歳以下
男子単優勝 小林 雅哉 選手(左)
準優勝 加藤 彰馬 選手(右)



関東ジュニア大会 18歳以下
女子単優勝 岩井 真優 選手(左)
準優勝 千村 もも花 選手(右)

CONTENTS

「テニスと体調管理」

関東テニス協会 鏡味 徳房 会長	3
第89回 関東オープンテニス選手権大会	4
第89回 関東ジュニアテニス選手権大会	5
第33回 第一生命 全国小学生テニス選手権大会	8
ATF 14/U須玉国際ジュニアテニス選手権大会2015	9
第42回 全国中学生テニス選手権大会	10
平成27年度全国高等学校総合体育大会	10

DUNLOP SRIXON全日本ジュニアテニス選手権	11
第1回グラスホパージュニアテニスカンプ	12
第54回関東実業団対抗テニストーナメント	13
第30回関東実業団対抗テニスリーグ戦	13
第39回全日本都市対抗テニス大会	14
第70回紀の国わかやま国体2015テニス競技	14
第20回指導者のためのリフレッシュ講習会	15
委員会よりお知らせ	15

この一球で
君は変わる！

松岡修造



国際大会を支える高品質なスピードタイプボール。

SRIXON

君は変わる！

松岡修造

この一球で



信頼に応え続ける高品質なロングセラーボール。

FORT

君なら
フォートなら
えんか！

松岡修造



信頼に応え続ける高品質なロングセラーボール。

FORT

この一球で
夢をつかめ！

松岡修造



国際大会を支える高品質なスピードタイプボール。

SRIXON



ダンロップ・テニスボール・アドバイザースタッフ 松岡修造



ITF[®]
Approved
APPROVED BY I.T.A.



ITF[®]
Approved
APPROVED BY I.T.A.

DUNLOP

株式会社ダンロップスポーツマーケティング テニス営業本部 〒108-0075 東京都港区港南1-6-41 TEL.03-5463-7324 www.srixon-tennis.com

△開缶時、開缶後は切り口で指をケガする恐れがありますので、缶のフタや缶の内側に直接手を触れないでください。



Dunlop/Srixon Tennis 公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/Dunlop.Srixon.Tennis>



「テニスと体調管理」



錦織選手は世界ランクを最高4位まで上げましたが、期待された全米オープンをはじめとする4大会の優勝は果たせませんでした。

伊達公子選手も世界4位まで経験していますが、25歳で一度引退しているため、26歳になった錦織選手の今後の4大会挑戦は日本人の誰もが経験していないハイレベルの試みであります。このような試みには経験者の知見を活用するのが有効であり、13年12月から錦織選手より小柄でありながら全仏オープン覇者となったことがあるマイケル・チャン氏の指導を仰いでいるのは大変賢明なことです。

昨年ジョコビッチ選手が圧倒的強さを示し、世界ランク1位を維持しました。また昨年は同選手の著書『ジョコビッチの生まれ変わる食事』という邦訳が出版されました。著書の中で、睡眠は8時間とる、寝る前はテレビやパソコンなど寝つきを悪くする光線避ける、途中目が覚めたら瞑想するなどが記されています。小生も人に教わって7時間半から8時間、気を付けの姿勢で寝るように努め、背骨を伸ばし腰痛を直すようにしています。頭脳は8時間睡眠を必要としないので、途中目が覚めますが、体のために正しい姿勢で瞑想をしながら寝続けていると自然に眠ってしまいます。ジョコビッチ選手の睡眠法が私の方法に似ているのに驚いています。14年の全米オープン決勝前夜、錦織選手は興奮して良く眠れなかったようですが、ジョコビッチ選手の睡眠法を取り入れていれば結果は違ったものになった可能性があるのではないかと素人なりに思えてなりません。

食事についても詳細に記されています。10年の全豪オープン準々決勝の途中で喘息に似た症状や腹痛を起こし、試合に負けたのをたまたまテレビで見ていた医者からの診断でパンやチーズ、トマトなどを食べるとアレルギー反応で体に炎症をもたらし、力がなくなることを教わり、それ以来食事に細心の注意を払っていることが書かれています。半年ごとに血液検査を受け、食事によるアレルギー反応が出ていないかチェックをしています。そして体に合ったメニューを作り、その食材を家族が購入し、料理は本人が作るなど徹底的に管理をしています。

私が知る限り、昨年ジョコビッチ選手が炎症にかかったというニュースはありませんでした。一方、錦織選手は専属トレーナーの指導で以前よりは改善しているものの、全英オープンで炎症のため2回戦を棄権するなど、依然故障に悩まされています。ジョコビッチ選手の炎症の原因を見抜いた医師がいたように、錦織選手の炎症の原因を見抜く医学関係者が現れることを期待したいものです。

その他、自分自身でマッサージを行う方法やストレッチのやり方が詳しく記述されており、世界1位を数年間維持している体調管理法はこれから世界を目指す若手や長くテニスを楽しみたい方々にとり貴重な参考書です。

現在、ジョコビッチ選手とマレー選手は28歳、フェデラー選手は34歳です。昨年全仏オープンで初優勝したバブリンカ選手は30歳です。26歳になった錦織選手にはまだ成長の可能性が十分あると言えます。少なくとも30歳になる4年後の東京オリンピックまで体調管理に留意しつつ世界挑戦を続け、その貴重な経験を後進に伝えてもらえれば、日本のテニス界には明るい未来が待っていると思います。

錦織選手の活躍は、彼自身の努力とジュニア時代から彼の才能に注目して特別に育成したり、米国のテニスアカデミーに派遣したり、声援を送ったりしてきた日本テニス関係者の力とが結実したものです。錦織選手とテニスに関係する皆さまの益々の活躍を祈念いたしております。



関東テニス協会会長
鏡味 徳房

第89回関東オープンテニス選手権大会



一般の部:2015年5月18日(月)~5月23日(土) 有明テニスの森

ベテランの部:2015年5月18日(月)~5月31日(日) 有明、大宮、小田原、甲府小瀬、千葉、昭和の森の6会場

一般の部は、天候に恵まれ順調に終了する事ができました。

男子シングルスは、新鋭同志の対決となり、綿貫選手が接戦の末初優勝しました。予選から勝ち上がった高校生高村佑樹選手と小林雅哉也選手がベスト4まで進出した活躍が目立ちました。男子ダブルス、女子シングルス、ダブルスはいずれも慶應義塾大学の選手が初優勝しました。今大会では若手、特に学生選手の活躍が目立ち、今後の躍進が期待される大会でした。

○一般男子シングルス

高村 佑樹(東京学館浦安高校)	喜多 61.64	綿貫 62.62
喜多 元明(日本体育大学)		
綿貫 敬介(明治安田生命)	綿貫 64.76(4)	小林 雅哉(グリーンテニスプラザ)
小林 雅哉(グリーンテニスプラザ)		

○一般男子ダブルス

喜多 文明(リコー)	喜多・芝田 62.61	上杉・高田 60.63
芝田 雅司(リコー)		
中島 啓(伊予銀行)	上杉・高田 63.61	高田 航輝(慶應義塾大学)
近藤 大基(慶應義塾大学)		
上杉 海斗(慶應義塾大学)	上杉・高田 63.61	佐藤 博康(JITC)
高田 航輝(慶應義塾大学)		
佐藤 博康(JITC)	金城 充(専修大学)	金城 充(専修大学)
金城 充(専修大学)		

○一般女子シングルス

長谷川 茉美(伊予銀行)	植木 64.60	小林 63.36.63
植木 千尋(東洋学園大学)		
細沼 千紗(早稲田大学)	小林 63.61	小林 夏実(慶應義塾大学)
小林 夏実(慶應義塾大学)		

○一般女子ダブルス

古川 鈴夏(筑波大学)	安形・村瀬 46.63.(4)	安形・村瀬 46.62.(6)
米原 実令(筑波大学)		
安形 玲耶(慶應義塾大学)	品田・福井 62.63	品田・福井 62.63
村瀬 早香(慶應義塾大学)		
足立 菊華(亜細亜大学)	品田・福井 62.63	品田・福井 62.63
高橋 玲奈(宮崎商業高校)		
品田 祐希(リコー)	品田・福井 62.63	品田・福井 62.63
福井 恵美(リコー)		

ベテランの部は、全日本ベテランに次ぐベテランJOPのBグレード大会として、5月18日(月)から2週間にわたり、6会場で、各主管都県協会の運営、ご協力により開催されました。

今大会は、男子85歳以上単複、女子75歳以上単が新設種目となり、男子は35歳以上~85歳以上の単複22種目、女子は40歳以上~75歳以上の単複16種目、合計

38種目に、全国から1383人(組)の選手が参加し、各会場で熱戦が繰り広げられました。80歳を過ぎてでもなお競技としてプレーする選手の姿を見ると、生涯スポーツとしてのテニスの幅広さ、奥深さ、素晴らしさを改めて痛感させられました。

第89回関東オープンテニス選手権大会ベテランの部

男子35歳以上S	向 和彦(アポロコーストテニスクラブ)
男子35歳以上D	大久保 祐輔(ルネサンス)
	向 和彦(アポロコーストテニスクラブ)
男子40歳以上S	元ビビアン(プロ・ミヤムラテニスセンター)
男子40歳以上D	渡邊 哲(エリステニスクラブ)
	堀口 元ビビアン(ミヤムラテニスセンター)
男子45歳以上S	相場 学(館林ローンテニスクラブ)
男子45歳以上D	太田 茂晴(Leads)
	奥石 龍児(川口市役所)
男子50歳以上S	正嗣(江戸川台テニスクラブ)
男子50歳以上D	吉川 剛志(鎌倉宮カントリーテニスクラブ)
	荷川取 浩(八景インドアテニススクール)
男子55歳以上S	原口 浩二(ヨネックス)
男子55歳以上D	廣岡 孝通(プロ・KPI)
	原口 浩二(ヨネックス)
男子60歳以上S	藤崎 英俊(フジテニスクラブ)
男子60歳以上D	中嶋 俊彦(横浜ガーデンT.C.)
	辻本 豊(花園テニスクラブ)
男子65歳以上S	塚本 邦男(塚本テニスカレッジ)
男子65歳以上D	塩見 芳彦(横須賀ダイヤモンドテニスクラブ)
	内藤 義雄(横浜ガーデンTC)
男子70歳以上S	清徳(和泉テニスクラブ)
男子70歳以上D	桐原 清徳(和泉テニスクラブ)
	小篠 輝章(梶の森テニスクラブ)
男子75歳以上S	片岡 紀二(高井戸ダイヤモンド・テニスクラブ)
男子75歳以上D	田中 正剛(三菱重工)
	前田 忠昭(鎌倉ローンテニスクラブ)
男子80歳以上S	芳男(新座ローンテニスクラブ)
男子80歳以上D	高瀬 健二(川崎テニスクラブ)
	渡辺 聰(川崎テニスクラブ)
男子85歳以上S	赤鹿 晃(園和テニスクラブ)
男子85歳以上D	久武 安雄(湘南ローンテニスクラブ)
	南 操二(市ヶ尾テニスクラブ)
女子40歳以上S	片山 恵子(マス・ガイアテニスクラブ)
女子40歳以上D	渥美 美和子(リーファイターナショナルテニスアカデミー)
	土屋 美帆(八景インドアテニススクール)
女子45歳以上S	笠井 和子(松原テニスクラブ)
女子45歳以上D	横山 紀美江(TTC)
	松永 明子(吉田記念)
女子50歳以上S	えみ子(テニスプロジェクト)
女子50歳以上D	高橋 えみ子(テニスプロジェクト)
	石黒 友希(SPTC)
女子55歳以上S	小泉 幸枝(プロ・モリタテニス企画)
女子55歳以上D	山田 かおる(越谷グリーンテニスクラブ)
	神沢 富士江(高崎水曜会)
女子60歳以上S	明代(大正セントラルテニスクラブ目白)
女子60歳以上D	岡 美和子(若林テニスクラブ)
	長崎 慶子(神崎テニスカレッジ)
女子65歳以上S	江沢 好美(クレールITS)
女子65歳以上D	興野 八重子(明治神宮外苑テニスクラブ)
	飯塚 恵子(明治神宮外苑テニスクラブ)
女子70歳以上S	正枝(チーム・ダイヤモンド)
女子70歳以上D	清水 倫代(東京グリーンテニスクラブ)
	大島 磯美(立野ローンテニスクラブ)
女子75歳以上S	稲垣 寿恵子(市ヶ尾テニスクラブ)
女子75歳以上D	日高 直子(東京ローンテニスクラブ)
	小田 晶子(東京ローンテニスクラブ)

第89回関東ジュニアテニス選手権大会



2015年7月18日(土)~7月23日(木) 予備24日(金) 会場:アポロコーストテニスクラブ

○ 18歳以下男子シングルス

小林 雅哉(グリーンテニスプラザ)	小林 雅哉	小林 雅哉 36.76(1.64)
奈良部 駿(吉田記念テニス研修センター)	61.63	
綿貫 陽介(グローバルプロテニスアカデミー)	川橋 勇太	加藤 彰馬 61.RET
川橋 勇太(町田ローンテニスクラブ)	46.64.63	
福島 晴(京王赤城アカデミー)	福島 晴	加藤 彰馬 63.46.63
甲斐 直登(自由丘インターナショナルテニスカレッジ)	76(3).63	
福田 真大(荏原SSC)	加藤 彰馬	
加藤 彰馬(横浜清風高校)	63.46.63	

○ 18歳以下男子ダブルス

綿貫 陽介(グローバルプロテニスアカデミー)	加藤・野口	加藤・野口 62.63
木元 風哉(グローバルプロテニスアカデミー)	75.76(4)	
加藤 彰馬(横浜清風高校)	高村・奈良部	高村・奈良部 64.63
野口 莉央(湘南工科大学附属高校)	64.63	
川橋 勇太(町田ローンテニスクラブ)		
福島 晴(京王赤城アカデミー)		
高村 佑樹(ファミエース市川テニスアカデミー)		
奈良部 駿(吉田記念テニス研修センター)		

○ 16歳以下男子シングルス

渡辺 聖太(バムインターナショナルテニスアカデミー)	渡辺 聖太	川上 倫平 61.64
申 乾浩(KCJテニスアカデミー)	63.61	
坂野 唯(狛江インドジュニアATPチーム)	川上 倫平	田形 諒平 76(6).60
川上 倫平(狛江インドジュニアATPチーム)	62.06.62	
田形 諒平(狛江インドジュニアATPチーム)	田形 諒平	田形 諒平 75.64
池田 悠人(きさらづアウルテニスクラブ)	64.64	
徳 航太(リビエラ選手マリーナテニススクール)	武藤 洸希	
武藤 洸希(大成高校)	61.67(1).63	

○ 16歳以下男子ダブルス

萩野 颯太(荏原SSC)	萩野・高橋	川上・田形 62.36.62
高橋 勇人(荏原SSC)	62.61	
松川 陽也(金町インターナショナルTA)	川上・田形	川上・田形 64.61
池内 航(コートピア大泉テニスクラブ)	64.61	
川上 倫平(狛江インドジュニアATPチーム)		
田形 諒平(狛江インドジュニアATPチーム)		
武藤 洸希(大成高校)		
白石 光(有明ジュニアテニスアカデミー)		

○ 14歳以下男子シングルス

坂川 広樹(楠クラブ)	坂川 広樹	坂川 広樹 63.57.60
赤西 大樹(初石テニスクラブ)	36.61.61	
福島 琉汰(ファミエース市川テニスアカデミー)	藤岡 凌大	藤岡 凌大 75.61
藤岡 凌大(荏原SSC)	64.75	
木村 優希(京王赤城アカデミー)	木村 優希	齋藤 聖 75.61
石井 涼太(INABA T.S.)	63.64	
鈴木 久統(荏原SSC)	齋藤 聖	
齋藤 聖(エストテニスクラブ)	61.61	

○ 14歳以下男子ダブルス

坂川 広樹(楠クラブ)	坂川・赤西	坂川・赤西 64.62
赤西 大樹(初石テニスクラブ)	61.63	
竹内 悠大(荏原SSC)	村松・石井	村松・石井 63.75
平野 太陽(Team YONEZAWA)	63.75	
飯泉 涼(CSJ)		
加藤木 塁(大洗ビーチテニスクラブ)		
村松 陸(あじさいインドアT.S.)		
石井 涼太(INABA T.S.)		



優勝 小林 雅哉(グリーンテニスプラザ) 左
大会参加の目的は全日本 Jr.に出場し優勝するためです。大会での課題はリターンとサーブ、ストロークの安定性を確保し、際どいところを狙わず相手を振る様に努めました。優勝の喜びはスクールのコーチ全員と後輩並びに学校の先生に伝えたい。将来は全日本選手権大会で一個でも多く勝てるように頑張る。その他全日本ジュニア、インターハイは優勝を目指して頑張りたいと思います。



優勝 田形 諒平(狛江インドジュニアATP チーム) 左
大会参加の目的は全日本 Jr.に出場し、良い成績を残すためです。今大会の課題は勝ち負けよりも、自分を信じて最後まで戦い抜くことを意識しました。優勝の喜びは普段お世話になっているコーチやトレーナーの方とそして両親に伝えたい。抱負はプロになって最後までファイトし多くの人から応援してもらえる人になりたい。



優勝 坂川 広樹(楠クラブ) 左
大会参加の目的は全日本ジュニアの出場権を得るためです。全日本ジュニアでは優勝を狙っています。課題として色々なボールを使って相手を崩し、先にネットを取りポイントを取ることに集中した。優勝の喜びはコーチと家族に伝えたい。将来はグランドスラムに出場し活躍したい。

○ 12歳以下男子シングルス

有本 響 (シンズあざみ野テニスチーム)	61.64	有本 響	63.62	望月 慎太郎	60.64
篠田 悠作 (アウリンテニスクラブ)	60.64				
飯田 康介 (あじさいインドアTS)	60.64	望月 慎太郎	62.36.64	望月 慎太郎	60.64
細川 暖生 (京王赤城アカデミー)	60.64				
山田 倫太郎 (U.T.PあたごTC)	75.64	望月 慎太郎	62.36.64	望月 慎太郎	60.64
上野山 大洋 (上野山テニススクール)	62.64				
矢崎 斗弥 (グリーンテニスプラザ)	62.64				
望月 慎太郎 (Team YUKA)					

○ 12歳以下男子ダブルス

望月 慎太郎 (Team YUKA)	上田 朔 (Team YUKA)	64.57.62	山田・野村	16.64.64
飯田 康介 (あじさいインドアTS)	中村 健太 (志津テニスクラブ)	64.61		
山田 倫太郎 (U.T.PあたごTC)	野村 侑平 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	64.61		
上野山 大洋 (上野山テニススクール)	小野寺 智也 (ミナミグリーンテニスクラブ)			

○ 18歳以下女子シングルス

大河 真由 (フミヤエース市川テニスアカデミー)	62.62	千村 もも花	63.63	岩井 真優	75.60
鈴木 舞 (バムインターナショナルテニスアカデミー)	64.36.63				
千村 もも花 (吉田記念テニス研修センター)	62.61	岩井 真優	62.62	岩井 真優	61.63
松田 美咲 (浦和学院高校)	61.63				
鎌田 琴衣 (荏原SSC)	62.61				
清水 映里 (グリーンテニスプラザ)	61.63				
岩井 真優 (サムライテニス)					
百瀬 里美 (高井戸ダイヤモンドフミヤTS)					

○ 18歳以下女子ダブルス

南 乃乃 (浦和学院高校)	松田 美咲 (浦和学院高校)	64.64	南・松田	64.67(6).64
百瀬 里美 (高井戸ダイヤモンドフミヤTS)	加藤 慧 (緑ヶ丘テニスガーデン)	63.36.76(7)		
宗 理美 (鉦江インドアジュニアATPチーム)	宗 公美 (鉦江インドアジュニアATPチーム)			
観持 梓 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	其田 桃子 (ビッグKテニス)			

○ 16歳以下女子シングルス

荒川 晴菜 (吉田記念テニス研修センター)	61.61	荒川 晴菜	26.75.62	荒川 晴菜	75.62
佐藤 光 (登戸サンライズテニスコート)	64.63				
安藤 優希 (自由が丘インターナショナルテニスカレッジ)	60.60	力石 優衣	16.60.63	力石 優衣	75.63
本藤 咲良 (高崎テニスクラブ)	75.63				
山口 芽生 (F テニス)					
力石 優衣 (フミヤエース市川テニスアカデミー)					
奥石 亜佑美 (川口市テニス協会ジュニア)					
西郷 里奈 (志津テニスクラブ)					

○ 16歳以下女子ダブルス

荒川 晴菜 (吉田記念テニス研修センター)	立山 里菜 (吉田記念テニス研修センター)	76(2).63	安藤・倉島	16.75.75
高西 佑里江 (グリーンテニスプラザ)	黒須 万里奈 (むさしの村ローンテニスクラブ)	64.62		
坂口 美佑 (Team YUKA)	前川 名月美 (亀の甲山テニスクラブ)			
安藤 優希 (自由が丘インターナショナルテニスカレッジ)	倉島 愛 (U.T.PあたごTC)			



優勝 望月 慎太郎 (Team YUKA) 左
大会参加の目的は全日本 Jr. 大会に出場し優勝するためです。大会での課題は各ゲームともチャンスボールを作って攻撃する作戦を立てました。優勝の喜びは両親とコーチへ真っ先に伝えたい。将来グランドスラムの優勝を目指して頑張っていきたい。準決勝で山田選手との試合では苦勞致しましたが優勝できて嬉しいです。



優勝 岩井 真優 (サムライテニス) 左
大会参加の目的は全日本選手権大会に出場するためです。優勝するための課題は一戦一戦、自分のプレーをすることに努めました。優勝の喜びを真っ先に知らせたい人はクラブの皆さんとトレーナーさんと姉です。将来の抱負はインカレの優勝です。



優勝 荒川 晴菜 (吉田記念テニス研修センター) 左
大会参加の理由は去年の全日本 Jr. (B16) では良い結果が出せなかったのが今年もまた全日本 Jr. で戦うためにこの大会に参加致しました。風が強いなかでも自分の調子を落とさずに安定したプレーに心掛けた。優勝の喜びは両親と家族に伝えたい。将来の抱負は全日本 Jr. で優勝する事と世界でも通用する選手になる事です。

○ 14歳以下女子シングルス

川村 茉那 (CSJ)	46.63	川村 茉那	36.62	川村 茉那	75.76(7)
神鳥 舞 (桜田倶楽部MTSジュニアアカデミー)					
小出 涼音 (神奈中テニススクール)	62.16	伊藤 沙里	62.16	伊藤 沙里	75.76(7)
伊藤 沙里 (グリーンテニスプラザ)					
長門 桃子 (吉田記念テニス研修センター)	75.64	長門 桃子	26.62	武部 せな	60.75
加藤 英佳 (グリーンテニスプラザ)					
佐々木 成子 (INOテニス)	60.75	武部 せな	26.62	武部 せな	60.75
武部 せな (CSJ)					

○ 14歳以下女子ダブルス

星野 遥香 (与野テニスクラブ)	63.64	川村・武部	62.57	川村・武部
大塚 美乃里 (与野テニスクラブ)				
川村 茉那 (CSJ)	64.63	猪瀬・進藤	64.63	猪瀬・進藤
武部 せな (CSJ)				
小出 涼音 (神奈中テニススクール)	64.63	猪瀬 瑞希 (吉田記念テニス研修センター)	64.63	猪瀬 瑞希 (吉田記念テニス研修センター)
早瀬 日菜乃 (ファーイーストJr TA)				
猪瀬 瑞希 (吉田記念テニス研修センター)	64.63	進藤 万里依 (吉田記念テニス研修センター)	64.63	進藤 万里依 (吉田記念テニス研修センター)
進藤 万里依 (吉田記念テニス研修センター)				

○ 12歳以下女子シングルス

松田 絵理香 (IHSMレニックス)	62.63	松田 絵理香	60.63	松田 絵理香	64.61
中山 桜季 (ロイヤルSCテニスクラブ)					
宮田 萌芳 (Team REC)	26.64	中川 由羅	26.64	中川 由羅	76(1).64
中川 由羅 (K.Powersテニスアカデミーマートテニスガーデン)					
高橋 風沙 (荏原SSC)	61.62	大橋 麗美華	61.62	大橋 麗美華	76(1).64
大橋 麗美華 (荏原SSC)					
西 飛奈 (昭和の森ジュニアテニススクール)	76(5).75	西 飛奈	76(5).75	西 飛奈	76(5).75
池田 涼子 (たちかわジュニアテニスアカデミー)					

○ 12歳以下女子ダブルス

金子 さら紗 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	62.63	金子・池田	06.76	松田・大橋
池田 涼子 (たちかわジュニアテニスアカデミー)				
宮田 萌芳 (Team REC)	63.61	松田・大橋	63.61	松田・大橋
犬塚 りお (昭和の森ジュニアテニススクール)				
高井 まひろ (一筆テニスクラブ)	63.61	松田・大橋	63.61	松田・大橋
勝見 幸璃 (上野山テニススクール)				
松田 絵理香 (IHSMレニックス)	63.61	大橋 麗美華	63.61	大橋 麗美華
大橋 麗美華 (荏原SSC)				



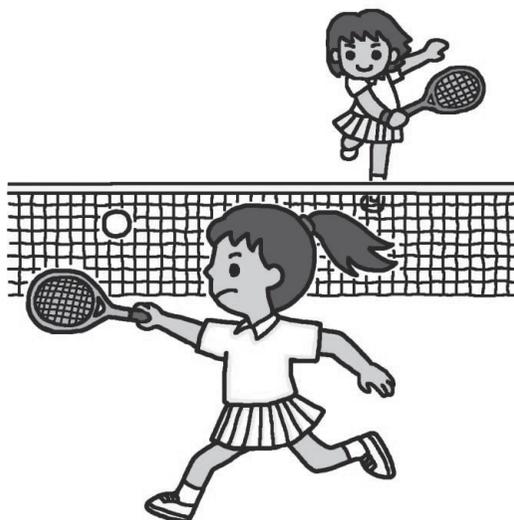
優勝 武部 せな (CSJ) 左

大会参加の目的は全日本Jr.大会に出場するためです。優勝するための課題はミスを恐れないで攻撃的にプレーすることを心掛けました。優勝の喜びは真っ先にお父さん、お母さんに連絡したい。将来の抱負は世界で活躍できる選手になりたい。



優勝 大橋 麗美華 (荏原SSC) 左

全大会参加の目的は全日本Jr.大会に出場することです。大会での課題はテニスを楽しみ優勝する事です。優勝の喜びはお父さん・お母さん・コーチに伝えたい。将来の夢はウィンブルドン大会で世界一になる事です。



第33回 第一生命全国小学生テニス選手権大会

平成27年7月28日(火)～30日(木) 会場:第一生命相模園グラウンドテニスコート

今年の「全小」には、関東地域から男子11名、女子14名の選手が出場した。このうちベスト8に進出したのは男子6名、有本響(神奈川)、小泉熙毅(埼玉)、望月慎太郎(神奈川)、駒形怜哉(東京)、細川暖生(東京)、上野山大洋(群馬)であった。同じく女子はわずかに3名、松田絵理香(神奈川)、小島彩那(埼玉)、大橋麗美華(神奈川)であった。

男子準々決勝、有本と小泉は1セット目の接戦を制した有本がストレートの7-6(4)、6-1で勝ち上がった。昨年もエイトに残っていた望月と井上玄意(三重)の対戦は1セット目を6-3でとった望月が勝ち上がると思われたが、2セット目から井上が挽回し3-6、6-2、6-3の逆転で勝利した。駒形と細川の東京勢の対戦は、細川が6-3、6-0のストレートで制した。ノーシードからエイトに勝ち上がった白木幹人(愛知)と上野山の対戦は上野山が6-3、6-0のストレートでベスト4に進出した。

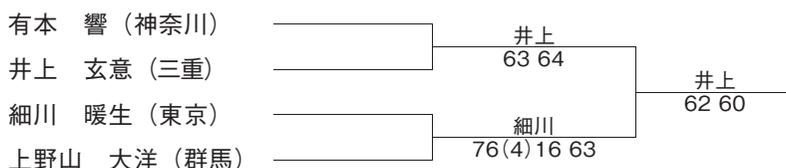
女子準々決勝、松田と森岡きらら(奈良)は松田が6-4、6-2で勝利した。関東勢の対戦となった小島と大橋は、大橋が堅く6-3、6-3で制した。

準決勝男子、第1シードの有本が井上にまさかの6-3、6-4のストレートで敗れた。また、関東勢の対戦となった細川と上野山は激しい戦いとなり、1セット7-6(4)で細川、2セット6-1で上野山、1セットオールからファイナルを細川が集中し6-3でとり、セットカウント2-1で決勝戦に進出した。

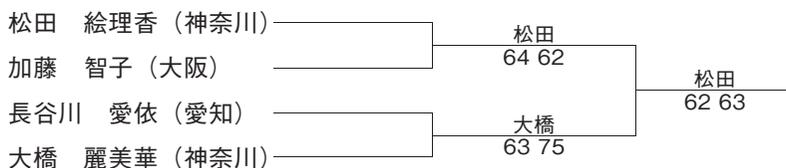
準決勝女子、松田が加藤智子(大阪)を6-4、6-2で退け、大橋は長谷川愛依(愛知)を6-3、7-5で苦勞しながらも退けた。

男子決勝は準決勝で力を使い果たしたかのように細川が井上に6-2、6-0で敗れ、惜しくも準優勝となった。女子決勝戦は神奈川勢の対戦となり、地力に勝る松田が大橋を6-2、6-3で退け、優勝した。

○男子シングルス ベスト4以上



○女子シングルス ベスト4以上



女子優勝の松田のウィナーズ・スピーチ



入賞者
左から上野山、有本、細川、井上、松田、大橋

ATF 14/U 須玉国際ジュニアテニストーナメント2015

2015年7月4日(土)～7月10日(金)山梨県北杜市・クラブヴェルデ



今回で10回目の開催となるATF(アジアテニス連盟)14/Uシリーズの唯一の国内大会であります須玉国際ジュニアトーナメントが今年も実施されました。大会は雨天続きの中、会場変更など運営面で大変な部分もありましたが無事日程通り行われました。今年も参加者の大部分が国内勢となりましたが、海外(中国、韓国、アメリカ、イギリス)からの参加も少数ですがありました。今回もシングルス本戦はコンパストローを採用し、ダブルスも含めて選手は5日間の中で数多くの試合を経験できたようです。また男女シングルの優勝者には8月に行われるITF兵庫国際ジュニアテニストーナメントの予選出場権が授与されました。



<写真左から>

男子単準優勝の平野 太陽 男子単優勝の坂川 広樹 女子単準優勝の照井 妃奈 女子単優勝の小出 涼音

シングルス最終順位(1～10位まで)

(男子)

優勝 坂川 広樹

準優勝 平野 太陽

3位 藤岡 凌大

4位 高畑 里玖

5位 齋藤 聖

6位 福島 琉汰

7位 中村 秋河

8位 小林 純也

9位 田中 瑛大

10位 田巻 雄介

(女子)

優勝 小出 涼音

準優勝 照井 妃奈

3位 内島 萌夏

4位 青木 乙葉

5位 中島 美夢

6位 進藤 万里依

7位 中条 愛海

8位 肥田 唯花

9位 山口 瑞希

10位 井實 彩乃

<男子ダブルス>

優勝 齋藤 聖・坂川 広樹

準優勝 平野 太陽・田中 瑛大

<女子ダブルス>

優勝 早瀬 日菜乃・小出 涼音

準優勝 肥田 唯花・内島 萌夏

第42回全国中学生テニス選手権大会

福島県会津若松市 会津総合運動公園テニスコート 2015年8月19日(水)～24日(月)



- 団体戦 男子:初出場の青丘学院つくば中(茨城)が初戦からの接戦を勝ち上がり見事、初出場初優勝という快挙を成し遂げた。第一、第二シードの小平二中(東京)、川口西中(埼玉)は一步及ばずベスト4に終わった。
- 団体戦 女子:昨年惜しくも準優勝に終わった第一シード城南学園中(大阪)が第二シードの太田西中(群馬)を下し優勝した。準決勝の小平二中(東京)との対戦では絶体絶命の大ピンチからの挽回であった。
- 個人戦 男子シングルス:昨年ベスト8で第一シードの白石光(東京・深川三中)が堅実なテニスで優勝をものにした。その他ベスト4には丹下将太(茨城・土浦五中)、渡邊聖太(神奈川・赤羽根中)が残ったが一步及ばずであった。
- 個人戦 男子ダブルス:ベスト4に増田・小山(東京・小平二中)、白石・福島(東京・深川三中)、守谷・高畑(東京・小平二中)の3組の関東勢が残ったが第二シードの白石・福島組が優勝を手にした。白石は単複制覇を達成した。
- 個人戦 女子シングルス:昨年ベスト4で第一シードの佐藤南帆(東京・深川三中)が順当な勝ち上がりで優勝をものにした。その他ベスト4には佐藤と同じくナショナルメンバーの宮本愛弓(千葉・萱田中)も残ったが惜しくも決勝進出を果たせなかった。
- 個人戦 女子ダブルス:ベスト4に松井・内島(東京・小平二中)、安藤・大橋(東京・赤塚二中)が残ったが第一シードの佃・肥田(大阪・城南学園中)が危なげなく勝ち上がり優勝した。
- 《感想》 中学生にとっての最大イベントの全国中学生大会、今大会も沢山のナイスプレーを見ることが出来ました。今後もテニスを通じてたくさんの事を学び、大きく飛躍して欲しいものです。

平成27年度全国高等学校総合体育大会

大阪府大阪市 マリンテニスパーク・北村 8月2日(日)～8日(土)



「2015君が創る近畿総体」テニス競技は、例年にも増して暑い大阪で開催された。関東勢の上位進出が期待される所であったが、全体としては、地元近畿勢の勢いが凄かったという印象である。女子団体戦でベスト4に残ったのは、相生学院(兵庫)、京都外大西(京都)、秀明八千代(千葉)、城南学園(大阪)(順位順)。男子は西宮甲英(兵庫)、清風(大阪)、四日市工業(三重)、岡山理大附(岡山)(順位順)と近畿勢が圧倒的な強さであった。

一方、個人戦では関東勢が大活躍。シングルスでは、男子:高村佑樹(東京学館浦安)が準優勝。女子は小堀桃子(大成)が優勝したのを始め、ベスト4に加藤慧(大成)、松田美咲(浦和学院)が残った。また、ダブルスでも、男子:小林・高村組(東京学館浦安)が準優勝、女子でも大石・剣持組(早稲田実業)が準優勝、松田・南組(浦和学院)が第3位となった。特に女子シングルスではベスト8のうち5人が関東勢であり、関東の選手の力量を見せつけたと言っても過言ではない。

また、今年の話は東洋大牛久が男女団体に揃ってベスト16となった事である。これは茨城県にとって初という事だ。この後に開催される茨城国体に向けて弾みがつき、結果が大いに期待される場所である。

DUNLOP SRIXON全日本ジュニアテニス選手権'15

2015.8.8~8.17 韮テニスセンター(U14/12は8.14まで江坂テニスセンター)

○18歳以下男子シングルス

山崎 純平 (関東・日清紡ホールディングス)	}	小林	}	小林
小林 雅哉 (関東・グリーンテニスプラザ)		62 63		64 36 62
高橋 悠介 (関東・荏原SSC)	}	綿貫	}	綿貫 陽介 (関東・グローバルプロテニスアカデミー)
綿貫 陽介 (関東・グローバルプロテニスアカデミー)		62 60		

○18歳以下女子シングルス

千村 もも花 (関東・吉田記念テニス研修センター)	}	千村	}	岩井
清水 綾乃 (関東・高崎TC)		63 75		75 75
上田 らむ (関西・相生学院高)	}	岩井	}	岩井 真優 (関東・サムライテニス)
岩井 真優 (関東・サムライテニス)		63 62		

○16歳以下男子シングルス

堀江 亨 (東海・関スポーツ塾・T)	}	堀江	}	堀江
トロッター ジェームズ (関西・西宮甲英高)		64 61		63 62
川上 倫平 (関東・狛江イントアジュニアATPチーム)	}	清水	}	清水 悠太 (関西・西宮甲英高)
清水 悠太 (関西・西宮甲英高)		75 62		

○16歳以下女子シングルス

坂田 季美佳 (関東・山梨学院大学附高)	}	坂田	}	本玉
宮本 愛弓 (関東・志津TC)		67(7)63 76(5)		75 62
荒川 晴菜 (関東・吉田記念テニス研修センター)	}	本玉	}	本玉 真唯 (関東・S.ONEグリーンテニスクラブ)
本玉 真唯 (関東・S.ONEグリーンテニスクラブ)		64 63		

○14歳以下男子シングルス

松下 龍馬 (関東・Fテニス)	}	松下	}	松下
齋藤 恵佑 (関東・グローバルプロテニスアカデミー)		75 61		60 62
吉野 郁哉 (北信越・ウエストヒルズJT)	}	横田	}	横田 大夢 (関東・ETC)
横田 大夢 (関東・ETC)		62 67(5)76(4)		

○14歳以下女子シングルス

武部 せな (関東・CSJ)	}	武部	}	川村
坂詰 姫野 (北信越・ファーストTA)		63 76(6)		36 60 76(4)
内藤 祐希 (北信越・長岡市TA)	}	川村	}	川村 茉那 (関東・CSJ)
川村 茉那 (関東・CSJ)		76(4)26 64		

○12歳以下男子シングルス

有本 響 (関東・シズあざみ野テニスチーム)	}	末岡	}	金田
末岡 大和 (関西・トプラン)		63 75		61 64
磯村 志 (中国・やすいそ庭球部)	}	金田	}	金田 諒大 (九州・福岡パシフィック)
金田 諒大 (九州・福岡パシフィック)		62 64		

○12歳以下女子シングルス

松田 絵理香 (関東・IHSMレニック)	}	松田	}	松田
加藤 智子 (関西・MTSカラバッシュTS)		36 63 75		61 61
大橋 麗美華 (関東・荏原SSC)	}	大橋	}	大橋 麗美華 (関東・荏原SSC)
長谷川 愛依 (東海・木曾川LTC)		63 26 63		

○18歳以下男子ダブルス

高村 佑樹 (関東・フナイエース市川テニスアカデミー)	}	}	}	高村・奈良部
奈良部 駿 (関東・吉田記念テニス研修センター)				46 62 61
綿貫 陽介 (関東・グローバルプロテニスアカデミー)	}	}	}	木元 風哉 (関東・グローバルプロテニスアカデミー)
木元 風哉 (関東・グローバルプロテニスアカデミー)				

○18歳以下女子ダブルス

小堀 桃子 (関東・U.T.PあたごTC)	}	}	}	剣持・其田
福田 詩織 (関東・自由が丘インターナショナルTC)				62 64
剣持 梓 (関東・たちかおジュニアテニスアカデミー)	}	}	}	其田 桃子 (関東・ビッグKテニス)
其田 桃子 (関東・ビッグKテニス)				

○16歳以下男子ダブルス

川上 倫平 (関東・狛江イントアジュニアATPチーム)	}	}	}	清水・羽澤
田形 諒平 (関東・狛江イントアジュニアATPチーム)				63 62
清水 悠太 (関西・西宮甲英高)	}	}	}	羽澤 慎治 (関西・西宮甲英高)
羽澤 慎治 (関西・西宮甲英高)				

○16歳以下女子ダブルス

坂田 季美佳 (関東・山梨学院大学附高)	}	}	}	坂田・宮本
宮本 愛弓 (関東・志津TC)				57 63 62
永田 杏里 (東海・南山中女子部)	}	}	}	本玉 真唯 (関東・S.ONEグリーンテニスクラブ)
本玉 真唯 (関東・S.ONEグリーンテニスクラブ)				

○14歳以下男子ダブルス

小林 純也 (東海・スポートテニスアカデミー)	}	}	}	坂川・赤西
池田 朋弥 (東海・スポートテニスアカデミー)				16 61 63
坂川 広樹 (関東・楠クラブ)	}	}	}	赤西 大樹 (関東・初石TC)
赤西 大樹 (関東・初石TC)				

○14歳以下女子ダブルス

川村 茉那 (関東・CSJ)	}	}	}	内藤・坂詰
武部 せな (関東・CSJ)				64 63
内藤 祐希 (北信越・長岡市TA)	}	}	}	坂詰 姫野 (北信越・ファーストTA)
坂詰 姫野 (北信越・ファーストTA)				

○12歳以下男子ダブルス

山田 倫太郎 (関東・U.T.PあたごTC)	}	}	}	望月・上田
野村 侑平 (関東・たちかおジュニアテニスアカデミー)				63 75
望月 慎太郎 (関東・Team YUKA)	}	}	}	上田 朔 (関東・Team YUKA)
上田 朔 (関東・Team YUKA)				

○12歳以下女子ダブルス

金子 さら紗 (関東・たちかおジュニアテニスアカデミー)	}	}	}	松田・大橋
池田 涼子 (関東・たちかおジュニアテニスアカデミー)				26 64 64
松田 絵理香 (関東・IHSMレニック)	}	}	}	大橋 麗美華 (関東・荏原SSC)
大橋 麗美華 (関東・荏原SSC)				

第1回グラスホパージュニアテニスキャンプ

2015年8月17日(火)～8月23日(日) 於:グラスコート佐賀テニスクラブ



コート:天然芝14面、インドアハード2面、インドア砂入り人工芝2面、砂入り人工芝3面

宿泊地:北山少年自然の家

参加者:全国47都道府県から小学5、6年男子(60名)女子(60名)総勢120名

関東地域より、男子(9名)女子(9名)総勢18名

2005年から2014年スポーツで青少年育成のためのスポーツ拠点づくり推進事業として開催された『夢は、ウインブルドンへグラスホパー全日本ジュニアIn佐賀』10年間の実績と積み上げたノウハウを活かし、2015年より、ウインブルドンへの次なるステップ『グラスホパージュニアキャンプ』として大会からキャンプへ移行した。

このキャンプには、2つの大きな柱がある。

1つ目は、小学校5、6年生の時期に、将来を見据えた 必要な体づくり(トレーニング)、食事、柔軟性、テニスの基礎技術。この時期に、天然芝を経験することにより、フットワークの重要性、回転をかけることによるボールの動き、特にスライスの有効性。ネットプレイが増え、様々なアイデアを出し 子供たちは、1週間で順応し 多彩なテニスをみせていた。

2つ目は、人間としての資質をあげる。テニスの上達にも人間力は必要ですが、日の丸を背負って戦う際、みんなから応援される選手、感動を与えられる選手になる必要がある。1週間、寝食をともにし、睡眠、食事、時間厳守、団体行動、洗濯、掃除を学び、長い遠征に必要な自己管理能力が、鍛えられる。世界遺産の三重津海軍跡地見学、佐賀錦の体験づくり。歴史や文化に興味を持ち学ぶことにより、教養を身に着ける内容もある。さらに、自分の地元の歴史や文化にも興味を持って欲しい。

以下の様々な講義を夜遅くまで子供たちは、眠い目をこすって真剣に聞いていた。

講義1 実践しよう！ジュニア選手としての食生活 小清水孝子氏

講義2 ヒトの身体づくりと運動 道上静香氏

講義3 ウインブルドンテニス ダン ブロック氏: ドリル、ラリーの間にも、講義

講義 スポーツマンシップ 西村JTA委員長

講義 ルール

練習内容

前半、4日間は、ドリル、ラリー、トレーニング、サービス、レシーブ

後半、2日間は、男子4チーム女子4チームに分かれ団体戦

指導者:小西一三氏、小浦猛志氏、植田雄章氏、神谷勝則氏、中野トレーナー、地域コーチ

『感想』

この時期に、1週間、天然芝を経験することより、多彩なプレーを身につけられ、テニスに幅が出て来た。雨が降ると、すぐ使えなくなる経験をし、自然と共有していることを学ぶ。1週間、全国のトップ選手が集まり、寝食を共にし、お互いに高めあう機会がある。テニスだけでなく、団体行動、時間管理、自分の荷物の管理、洗濯、食事、トレーニング、など、子供たちの日々の成長が、見られた。最終日、地域に関係なく男女4チームずつに分かれて、試合を行い、応援をする姿は、将来のデビスカップ、フェドカップで戦う、いいリハースルになっただろう。最後に、グラスホパーに、参加した関東の選手が数年先に、ウインブルドンで活躍することを期待します。

関東地域代表コーチ 倉林 愛一郎

第54回関東実業団対抗テニストーナメント (ビジネスパル・テニス関東大会)

7月18日(土)～19日(日) 会場:群馬県総合スポーツセンターテニスコート



大会初日は終日雨、二日目は35度の猛暑という過酷な条件の中、男子はレック興発が川口市役所を接戦で制し初優勝、女子は第1シードの東京海上日動が第2シードの日本航空を破って優勝した。

運営に関しては、女子参加数が12チームに増えて初めての16面開催の大会となったが、16面でも可能と証明できたことは来年度以降の参考になると思う。開会式、閉会式および懇親会に登場した2014年ゆるキャラグランプリのぐんまちゃんは皆に大人気で、大会を十分盛り上げてくれた。懇親会は大いに盛り上がり、真剣な試合だけでなく



親睦を深めることができた意義は大きい。

男子は6位まで第54回全国実業団対抗テニス大会に出場する。

女子は同大会に5位まで出場できるが、4位の辞退により、第6位のチームを推薦する。

男子	所属	チーム名	女子	所属	チーム名
優勝	東京	レック興発	優勝	東京	東京海上日動
準優勝	埼玉	川口市役所	準優勝	千葉	日本航空
3位	千葉	NTT 東日本・千葉	3位	東京	NTT データ
4位	埼玉	本田技術研究所・埼玉	4位	茨城	原科研
5位	東京	ブリヂストンスポーツ	5位	神奈川	横浜市役所
6位	栃木	本田技術研究所・栃木	6位	東京	富士通
7位	栃木	栃木県庁			
8位	茨城	日立 AMS・佐和			

第30回関東実業団対抗テニスリーグ戦

9月4日(金)～6日(日) 会場:千葉県千葉市フクダ電子ヒルスコート



関東1都7県から男子16チーム、女子12チームが参加。本大会では、男子で栃木県のチームが昨年に続き最終日に残り、都市と地域の差が縮まることを期待できました。課題は女子で、代表チームを出せない県が増えてきており、更なる大会の工夫が必要と思われます。懇親夕食会では、初出場チーム等による余興で大いに盛り上がり、テニスの試合だけにとどまらないチーム間の交流が実現したと思われました。

さて、今回は第30回という節目の大会であり、これまでの歴史をかみしめると同時に、実業団テニスを取りまく環境は変わりながらも将来へとつなげていく決意を新たに致しました。稿を終えるにあたり本大会運営関係者各位の多大なる御協力、御支援に深謝いたします。



男子、レック興発は初出場、初優勝。男子は3位まで、全国実業団対抗テニストーナメントに出場する。東京海上日動は初優勝。

女子は6位まで同大会に出場。及びダイレクト・アクセプタンスの下記3チームも出場する。

男子	チーム	都県名	女子	チーム	都県名
1位	レック興発	東京	1位	東京海上日動	東京
2位	明治安田生命	東京	2位	みずほフィナンシャルG	東京
3位	三菱マテリアル	東京	3位	富士通	東京
4位	三井不動産	東京	4位	NTT データ	東京
5位	三菱東京 UFJ 銀行	東京	5位	三菱地所	東京
6位	ブリヂストンスポーツ	埼玉	6位	NTT ドコモ	東京
7位	NTT 東日本・千葉	千葉			
8位	鹿沼市役所	栃木			

(1) 三菱東京UFJ銀行東京(東京) (2) 三井住友銀行大手町(東京) (3) ウインザー(神奈川)

第39回全日本都市対抗テニス大会

(2016希望郷いわて国体テニス競技リハーサル大会)

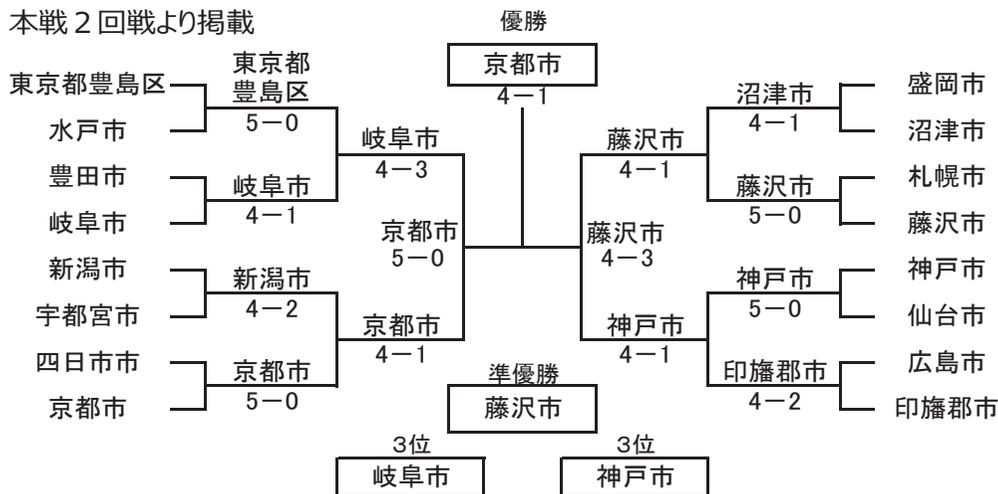
2015年7月24日(金)～26日(日) 於:盛岡市立太田テニスコート



関東地区は本戦ストレートインの印旛郡市、さいたま市、藤沢市、および関東地域予選を勝ち抜いた東京都豊島区、宇都宮市、水戸市の6チームが出場し、3チームがベスト8入賞、この内、印旛郡市は4年ぶりの入賞、東京都豊島区は2回戦で関東勢の水戸市との対戦であった。藤沢市は準決勝で神戸市との接戦を制し決勝進出し、京都市に次ぐ準優勝であった。

次年度参加枠は、全国9地域に基礎枠24を配分したところに、過去2年の成績を配点して算出したドント配分枠を追加して決める。2017笑顔つなぐえひめ国体リハーサル大会の参加枠は、関東地区6枠を獲得している。

本戦 2回戦より掲載



第70回紀の国わかやま国体2015テニス競技

2015年9月27日(日)～30日(水) 於:和歌山市立つつじが丘テニスコート



関東勢は成年女子、少年男子、女子の活躍が目立った。成年女子は1位 埼玉、3位 茨城、少年男子は1位 千葉、3位 神奈川、4位 東京、少年女子は2位 千葉、3位 東京、7位 神奈川であった。一方、成年男子は4位 埼玉のみが8位入賞に終わった。

テニス競技天皇杯(男女総合成績)は、1位 千葉に続いて埼玉、東京、神奈川の4都県が8位内入賞。

テニス競技皇后杯(女子総合成績)は、1位 埼玉に続いて千葉、茨城、東京の4都県が8位内入賞。

次年度国体参加枠は、全国9地域に基礎枠24を配分したところに、過去2年の成績を配点して算出したドント配分枠を追加して決める。第71回希望郷いわて国体2016 の参加枠は、成年男子5枠、成年女子8枠を獲得している。女子は昨年に引き続き、国体関東予選が不要となる。

第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体2015) テニス競技1位～8位 成績一覧表

	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子		天皇杯(男女総合)		皇后杯(女子総合)
1位	和歌山県	埼玉県	千葉県	沖縄県	1位	千葉県	1位	埼玉県
2位	岡山県	兵庫県	大阪府	千葉県	2位	埼玉県	1位	福井県
3位	京都府	茨城県	神奈川県	東京都	3位	岡山県	1位	沖縄県
4位	埼玉県	福井県	東京都	山口県	4位	東京都	4位	千葉県
5位	愛媛県	岡山県	三重県	静岡県	5位	大阪府	4位	兵庫県
6位	鹿児島	長崎県	大分県	福井県	5位	兵庫県	6位	茨城県
7位	大阪府	三重県	兵庫県	神奈川県	7位	神奈川県	6位	東京都
8位	佐賀県	岐阜県	岩手県	岡山県	7位	福井県	8位	岡山県
					7位	愛媛県	8位	山口県
					7位	沖縄県		

第20回指導者のためのリフレッシュ講習会

開催日：平成27年7月12日(日)



公認：(公財)日本テニス協会

参加者：47名

報告：普及指導委員長 佐藤 淳一

- (1) 講師：渡邊美月先生 (公財)日本テニス協会アンチドーピング委員、公認スポーツファーマシスト
○アンチドーピングについて
- (2) 講師：梅林薫先生 (公財)日本テニス協会医事委員会副委員長、大阪体育大学教授
○ジュニア選手の育成及びタレント発掘について
- (3) 講師：中村寛孝先生 公認アスレチックトレーナー 東海医療学園専門学校常勤講師
○ジュニアの体力向上トレーニングとシニアのコンディショニングについて
体育館を使用し身体を使い実践的訓練が行われました。
猛暑の中での講習会でしたが参加者全員が体調を崩さず終了することが出来ました。



委員会よりお知らせ



《審判委員会》

審判委員会は8都県テニス協会審判委員長の協力を頂き活動しています。

関東ジュニア大会には約60名のSCUを千葉県白子会場に派遣しました。SCUは日毎に経験を重ね、選手が気持ちよく存分に力を発揮できるよう務めています。

毎日新聞社より依頼される毎日テニス選手権大会には各都県の精鋭ロービングアンパイアを派遣しました。ロービングアンパイアはコートを駆け回り、円滑な試合進行に協力しています。

関東オープンベテランミックス大会は、埼玉県テニス協会と東京都テニス協会が運営に協力しています。

ルール講習会はJTAの認定員講師をお迎えし改正内容など解説していただき、正しいルールを学びます。また、解決できなかった疑問点を教えていただき知識を深めます。今年度は2016年3月12日(土)東京体育館で開催予定です。前回の新宿スポーツセンターより広い会場となり、募集人数を120名に増加しました。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

年3回開催の委員会では各都県協会の活動を報告し、大会の運営向上、審判員技術の更なるレベルアップをめざし活発に討論しています。

《賛助会員の募集について》

関東テニス協会では、次世代を担うジュニアの育成のための費用として、ご寄付いただく賛助会員制度があります。皆様から1口1万円のご協力を得て有効な強化施策を実行いたしております。

現在70名弱の会員からご支援をいただいておりますが、更なる増員をお願いいたしております。詳しくは関東テニス協会のホームページ内募集趣意書をご高覧いただけますようお願いいたします。

(<http://www.kanto-tennis.com>)



BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ

新「X」時代はじまる。

パワーだけじゃない、スピンだけじゃない、
勝利をつかむX-BLADE

X-BLADE vx Series

■ X-BLADE VX 310 ¥32,000+税
重量 310 g (平均) フェイスサイズ 95 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX 305 ¥32,000+税
重量 305 g (平均) フェイスサイズ 98 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX-R 300 ¥30,000+税
重量 300 g (平均) フェイスサイズ 100 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX-R 290 ¥30,000+税
重量 290 g (平均) フェイスサイズ 100 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX 295 ¥32,000+税
重量 295 g (平均) フェイスサイズ 98 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX-R 275 ¥30,000+税
重量 275 g (平均) フェイスサイズ 100 inch² ラケット長 27 inch

■ 表示価格はメーカー希望小売価格で、参考価格です。

ブリヂストンスポーツ株式会社

商品のお問合せはお客様コールセンター 0120-116613 平日10:00~17:30(土日・祝日および当社指定休日は除く)

www.bs-tennis.com